

ブルガリア交流会に参加して



投稿者・日暮さん
歌を披露する

経営学部3年

日暮 武蔵

Добър ден!

これは、覚えてたのブルガリア語の「こんちはー!」です。

僕は5月28日に、ブルガリアの歌姫といわれているヴァリャ・バルカンスカさんと、ブルガリアの伝統的な楽器であるバグパイフの奏者ペタル・ヤネフさんが初来日された事を機に、六本木のホテルアイビスで行われた交流会に参加してきました。

この交流会には、実は文京学院生が特別に招待され



ペタル・ヤネフさん（左）とヴァリャ・バルカンスカさんのミニコンサート

ていました。当日は100人程が参加し、ヴァリャ・バルカンスカさんとペタル・ヤネフさんのミニコンサートでは、迫力ある音色に合わせて心に響く歌声を披露してくださいました。

交流会では、ブルガリアの紹介や、日本文化の披露（紙芝居や浴衣の着つけ・鳴子踊りなど）があり、異文化交流の一つの形を体験してきました。僕は、その中で、若者文化披露の役を担い「世界に一つだけの花」を歌ってきました。日本語のわからないお2人でしたが、通訳を介して聞くことができ、大変喜んでくださいました。僕の初の異文化交流が大成功となりました。

文化交流が大成功となりました。

僕は現在「新・文明の旅特講a」という講義を履修しています。ブルガリアを勉強していることが交流会に参加した要因です。講義

の内容は、トルコ・ブルガリア・ルーマニアを対象に、文化や宗教、歴史的遺産、習慣などについて、現地の人を招いて講演してもらい、知識を深めるものです。そして、対象の国々に強い関心を持った行動力ある学生が選抜されて、実際に現地に派遣されます。狭き門

ではありませんが、履修生は全員、現地に興味を持ち一生懸命勉強しています。ちなみに派遣学生の旅費や宿泊費は大学が負担してくれるという、非常に魅力的な話なのです!

文京学院には、こういった学生が自由に参加できる行事や授業がたくさんあります。そして積極的に行事に参加することは、自己の成長の場だと僕は考えています。

それでは、До виждана (さようなら) !!